

年 組 () 名前

サイン

【1】写真の動物の
名前をカタカナ6
字で書きましょう。

【2】この動物がい
る都道府県の名前
を漢字3字で書き
ましょう。

◆北海道の森林に、エゾモモンガが姿を見せています。



モグモグタイム

十勝地方でエゾモモンガ

目をくりつとさせ、ほおばる姿が愛らしいエゾモモンガ(2月16日、十勝地方の森林で) 佐々木紀明撮影

十勝地方の森林で、エゾモモンガが姿を見せている。
エゾモモンガは体長約15センチで、北海道に生息する固有種。クリツとしたかわいらしい目の特徴のリスの仲間だ。野鳥が使い古した巣穴などをねぐらにして、日没から夜明け前に木から木へと飛び移る。春先と初夏には日中に繁殖行動を行うという。
巣穴から出たエゾモモンガが激しく追いかけてこをした後、ハンノキの樹上にとどまり、花穂などを口に運んでモグモグとし、愛くるしい表情を見せていた。食事を済ませると、飛膜と呼ばれる翼を広げ、滑空して巣に戻って行った。

(2022年3月17日 読売新聞北海道版より)

※先生やおうちの人と
いっしょに読みましょう。

【発展問題】写真の動物は、昼よりも夜に活発に活動する動物です。夜に活動する動物を調べ、裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆千葉県八街市で小学生5人が亡くなったりケガをしたりした交通事故があり、このような悲しい事故を減らそうと、さまざまな工夫が試されています。

(2022年3月11日
読売新聞千葉版より)

【1】交通事故を減らす工夫が記事では四つ書かれています。□の中に書きましょう。



ゾーンとポール 30キロ速度制限

船橋市は県警と連携して県内初となる交通安全対策「ゾーン30プラス」を同市古作地区の市道に整備し、写真1、10日に供用を開始した。

船橋市 生活道路で対策

を組み合わせている。八街市での児童5人死傷事故を受け、国が昨年8月、新たな対策として打ち出した。古作地区は幹線道路に囲まれ、通学路を含む生活道路が抜け道として使われている。地域住民から歩行者の安全を求める声が多く、県内初の導入となった。警察が速度規制の標識を設置し、市が緑色の路面標示や補助看板を設けた。さらに、両側に3メートル間隔でポールを立て、車の速度を抑える効果を狙っている。

市の担当者は「ドライバーにはスピードを緩めてもらい、地域の皆さんが安心して歩ける道路になってほしい」としている。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

【2】記事中の道路は、車がたくさん走る「幹線道路」という道路に囲まれています。本来は通学路などとして使われています。それなのになぜ、このような交通安全対策が必要なのでしょう。

【発展問題】交通事故を減らす方法は、記事のようなやり方だけではありません。あなたなら、どのような交通安全対策を提案しますか。裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン



ウヴェはぶつからないよう注意が必要だが、広い場所では自由だ。コロンさんが持つリードを頼りに全力疾走する（東京都大田区で）＝園田寛志郎撮影

5年後の昨年2月、PWJの活動を見学するために東京から訪れた合唱団「ホワイトハンドコーラスNIPPON」の芸術監督、コロンえりかさん(42)は、ケージに掲げられた紹介カードを偶然目にして足を止めた。

「保護犬の中でも、障害のある犬は引き取り手が見つかりにくい」とする。

しかし、障害のために「かわいそう」「世話が大変そう」と敬遠され、なかなか引き取り手が見つからなかった。PWJは、「保護犬の中でも、障害のある犬は引き取り手が見つかりにくい」とする。

(落合宏美)

視覚や聴覚に障害のある子どもたちでつくる東京の合唱団に、神石高原町の動物保護団体に引き取られていた全盲の犬が「名誉メンバー」として加わった。合唱団の芸術監督を務める女性が全盲犬を譲り受け、世話をしている。障害があることへの理解は十分に広がっているとはいえず、女性には「活動の様子を知ってもらい、豊かな個性に目を向けてほしい」と話す。

しょうがい
◆障害のあるなしに関わらず、みんなが助け合いながら暮らせる社会にするにはどのようなすれば良いか、考えましょう。

全盲犬 ウヴェ 「名誉団員」に

犬は雄の雑種「ウヴェ」（推定5歳）。2016年に、県動物愛護センター（三原市）が野良犬として保護した。体格などから生後約1か月とみられ、両目は見えていなかった。

治る見込みがない病気があると殺処分対象となるため、同センターは犬の譲渡先を探す保護事業などに取り組むNPO法人「ピースウィンズ・ジャパン（PWJ）」（神石高原町）に相談し、引き取ってもらった。

ウヴェは網膜などが正常に発達しない「網膜異形成」という病気と診断され、手術で両目を摘出して義眼になった。手術後は、スタッフらの献身的な看病で警戒心も薄れ、慣れた場所ではぶつからずに歩けるようになった。

しかし、障害のために「かわいそう」「世話が大変そう」と敬遠され、なかなか引き取り手が見つからなかった。PWJは、「保護犬の中でも、障害のある犬は引き取り手が見つかりにくい」とする。

違い認め合う大切さ伝える

「両目義眼ですが 散歩が大好き」

「ウヴェ」と名前を呼ぶと元気にケージから出て駆け寄ってきた様子に、すぐ引き取ることを決めた。同時に、合唱団の子供たちの顔が浮かんだ。

合唱団は、障害のある子と健全の子が声と手話で一緒に表現する。東京芸術劇場との共催事業として定期的に公演している。

東京に戻り、子供たち約30人にウヴェのことを話すと、「名誉メンバー」として迎え入れよう」と歓迎してくれた。

両目とも弱視でほぼ見えない筑波大学付属視覚特別支援学校6年友重真生君(12)は「いつかウヴェと一緒に舞台上に立ってみたい」と声を弾ませる。障害に対する偏見で、傷ついた子供たちは多いという。友重君は「障害者も健全者も、お互いを知って、理解し合うことが大事だと思う」と話す。

昨年12月、ウヴェは合唱団の公式ツイッターのアイコンに初めて登場した。コロンさんは「今後、ウヴェと子供たちの交流の様子など生き生きとした姿を発信し、自分と違うことを認め合う大切さを伝えたい」と語る。

(2022年3月13日
読売新聞広島版より)

【1】「ウヴェ」の引き取り手がなかなか見つからなかったのはなぜですか。

【2】この合唱団は「自分と違うことを認め合う大切さ」を伝えるために、どのような活動をしていますか。

【発展問題】災害現場で活躍したり、障害者を導いたりするなどして人間を助けてくれる犬がいます。どのような種類の犬がいるか、調べて裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

地震で火力停止 痛手

東日本電力逼迫



「電力需給逼迫警報」を受け、展示用テレビの電源を落とした家電量販店（22日午後、東京都新宿区で）＝須藤菜々子撮影

東日本で22日、大規模停電が懸念されるほど電力の需給が逼迫した。最大の要因は、福島県沖の地震で複数の火力発電所が停止した状態で、想定外の厳しい寒さにより暖房需要が増えたことだった。火力の早期復旧は難しく、猛暑に向けた対応策が求められる。

■需要1割弱

16日の福島沖地震では、計13基の火力が停止した。その後は7基が再稼働したもの、6基は動かないまま。設備の被害が主因とされる。Jパワーの磯子火力発電所（横浜市）2基は19、20日に原因不明の設備故障などで運転を停止した。現状で失われている供給力は計約450万キロワット。と、東京電力と東北電力管内の需要の1割弱を占める。本来であれば、3月下

旬は徐々に気温が上がって暖房の需要が減る時期にあたる。このため、地震の影響は限定的とみられていた。東電は先週時点で、22日の最大需要を4100万キロワットと見込んだ。それが、前日までの天気予報で東京都を中心に想定以上の寒さになることが判明。東京電力管内の需要は4500万キロワットにまで膨れ上がった。

■太陽光の弱点

脱炭素社会に向けて世界的に導入が進む太陽光発電の不安定さも露呈した。政府は脱炭素社会に向け、太陽光や風力といった再生可能エネルギーの割合を30年度に現状の約2倍の36、38%に高める方針だ。これ以前から東電や東北電

力は約450万キロワット。と、東京電力と東北電力管内の需要の1割弱を占める。本来であれば、3月下

旬は徐々に気温が上がって暖房の需要が減る時期にあたる。このため、地震の影響は限定的とみられていた。東電は先週時点で、22日の最大需要を4100万キロワットと見込んだ。それが、前日までの天気予報で東京都を中心に想定以上の寒さになることが判明。東京電力管内の需要は4500万キロワットにまで膨れ上がった。

◆関東や東北で3月、節電を呼びかける警報が出されました。なぜ、電力不足が心配される事態となったのでしょうか。（2022年3月23日 読売新聞朝刊より）



【1】大規模な停電が心配された東日本では現在、主な電源を何に頼っていますか。

【2】電力の需給が逼迫した原因を「自然災害」と「天候」の面から説明しましょう。

【自然災害】	【天候】

【発展問題】今後も、夏に向けて電力の不足が心配されています。節電のために、家庭や学校でできること、地域でもできることを考えて、裏に書きましょう。



年 組 () 名前

サイン



◆千葉県富津市のマザー牧場で、ヒツジの赤ちゃんが誕生しました。

Weigh to go

A lamb is weighed at Mother Farm in Futtsu, Chiba Prefecture, on Sunday, as its mother looks on. This year's first lamb, a female, was born Feb. 9 at the farm, which raises about five hundred sheep and lambs. Visitors can watch lambs being weighed from 1 p.m. on Saturdays, Sundays and national holidays between Feb. 26 and March 21.

(2022年2月26日 The Japan Newsより)

【1】子ヒツジを英語でなんといいますか。

--	--	--	--

【2】この牧場で飼育されているヒツジは何匹いますか。数字を書きましょう。

約

--

匹

is weighed: 体重を測定されている、Prefecture: 県、look on: 見物する、female: 雌の、was born: 生まれた、raise: 飼う、hundred: 百、sheep: ヒツジ、visitor: 観光客、watch: 見る、national holidays: 国民の祝日

©The Yomiuri Shimibun

よりよく生きるために必要な「読解力」を育てる

教員、教委の
みなさまへ！

よむYOMUワークシート

教材のご案内

小学生版

中学生版

(例：小学生版)



紋別小学校（北海道紋別市）での取り組み（2021年度）



(1) 回答欄つきのワークシート



配信例
(1回あたり)

(2) 解答・解説シート



(3) 学びを
深める
関連記事

+学習指導
要領との
対応表

お問い合わせは…

読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1

☎ 03-3217-1967 Fax : 03-3217-1968

Mail : ednet@yomiuri.com

Web : kyoiku.yomiuri.co.jp

読解力 向上
プロジェクト
Utilizing Newspapers In Schools for Overall Reading-literacy

● 最新ニュースを厳選したワークシート！

新聞記事をもとに作成した教材を、半年間で15回配信します。1回の配信内容は3枚（ワークシート／解答・解説／関連記事）＋学習指導要領との対応表。いずれもA4カラー、白黒印刷可能です。

※小学生版または中学生版からお選びください

※難易度別シート（各3回分程度）、人気のシート（各3回分程度）もダウンロード可能です

◆ 配信イメージ（前期）

※登録期間中であれば、配信日以降はいつでもダウンロード可能です。カリキュラムに応じて自由にお使いください

1 2	GW	3 4 5	6 7 8 9	10 11 12	夏休み	13 14 15	
4月		5月	6月	7月	8月	9月	10月
登録期間（前期）							（後期）

● 1回あたり20円！

【標準価格】半年：児童生徒1人あたり300円／1年：600円

※参加人数・時期など条件により変わります。お問い合わせください

● 無料体験版をお試ください！

はじめての方は、無料体験版をご利用いただけます（ダウンロードできる教材：過去のシート5枚＋最新シート1枚）。1、2か月程度、シートを実際にお試しいただき、有料版への移行をご判断ください。

※無料体験のお申し込みは原則各学校1回といたします

【効果測定の方法】児童生徒の意識変化等を確認したい場合は、教材取り組み前と後に使用するアンケートをお渡します（※アンケートは各学校で集計をお願いします）

◀ 裏面もご覧ください

よむYOMUワークシート



オススメ

① 短時間で使える

実施時間は10～15分

よむYOMUワークシートの実施時間は「15分以内」が8割、中学校のみでは「10分以内」が66%を占めました。「授業の『すきま時間』に利用できて重宝した」「教師が記事を探すところから準備するのは難しいので、助かった」「最初からルビや注釈がついているので読みやすい」との評価をいただいています。

オススメ

② 子どもの「読む姿勢」が変化

必要な語 見つけれられる

教材に取り組む前後に行った意識調査では「文章を読むとき、必要な語を見つけることを意識している」という問いに対する回答が右図のように変化し、読解に必要な力が備わってきていることがわかりました。また、「教材をやってよかった」は88%、「教材は役に立つ」は91%という回答からも、児童生徒に高く評価されていることがわかります。

オススメ

③ 学習指導要領に沿った内容

読むこと「精査・解釈」／学びに向かう力 育む

読むことはもちろん、「新学習指導要領」が目指す「学びに向かう力、人間性等の涵養」に役立つ教材であることも示されました。興味を持って取り組んだ児童生徒は、テストの得点が伸びています。

■ 監修者のことば

富山 哲也 十文字学園女子大教育人文学部児童教育学科教授

新しい学習指導要領が求める「読解力」は、大きく2つに分かれます。

まず、何を述べようとしているのかの大意をつかむとともに、目的に応じて必要な情報を得る力です。そしてもう一つが、「表現の仕方などに着目し、書き手がどのように、どんな意図を持って伝えようとしているのかをとらえる力」です。特にこの二つ目の力が、これからの情報化社会に必要な「力」であり、日本の子供の弱点でもあります。

二つめの力は、「なぜこの文章は『信頼できる』と判断できるのか」「この文章の論の進め方に説得力がないのは、なぜか」「どういう意見を読み手に伝えようと意図して編集しているのか」など、常に書き手の狙いを考えながら読み進めることが求められます。多くの情報に触れ、生活していく時に、書き手の狙いを読み解く力がないと、「だまされる側」になりかねません。情報の「善し悪し」を判断するための力とも言えます。

書き手の狙いをとらえる力があればこそ、逆に自分が書く側になった際、自分の意図をうまく表現・編集することができます。ですから「読解力」が向上すれば同時に「書く力」「伝える力」も向上するはずです。

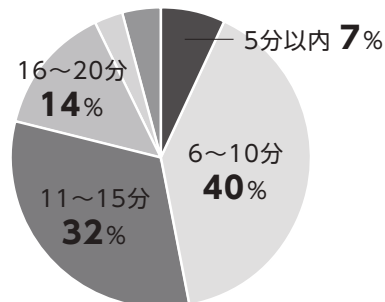
二つめの力を重視した問題集はまだ数少ないのが実情です。よむYOMUワークシートはその点に着目していることが強みであり、特徴だと考えます。



これまでに
全国200校、
約2万6000人が
取り組み
ました

2021年度 教員アンケートより

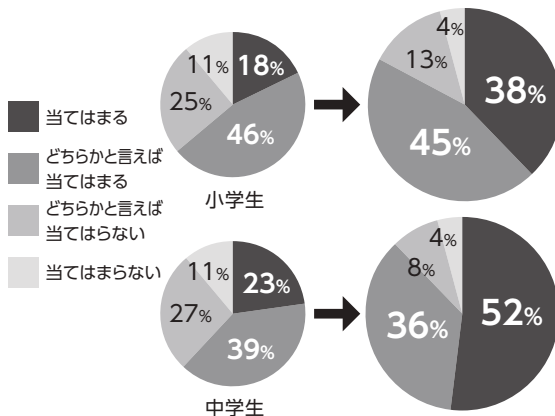
◆よむYOMUワークシートの実施時間
[小中計]



2021年度 児童生徒アンケートより

◆実施後の変化

「文章を読むとき、必要な語を見つけることを意識している」



◆児童生徒の声

物事をさまざまな視点から見られるようになった／視野が広がった

自分のことや世の中のいろいろなことを考えるようになった

興味がなかったものに興味がもてた

ニュースなどについて前よりも自分はどうかなど考えるようになった

ニュースについて家族と話すようになった

いろいろな事を考える力がついた

文章を読むことの大切さに気づいた

人に伝える言い方がうまくなった

文章の構成を考えるようになった／文をまとめられるようになった

文章を読むようになった／読むのが楽しくなった